

今回は 数学科の授業改善報告 です。

◇ 研究授業

日 時：2022年2月14日（月） 5限

対 象： 1年6組（40名）

担 当：永田 英之

科 目：数学Ⅱ

単 元：複素数と方程式・高次方程式

学習活動：

前時では、異なる2つの実数解が与えられたとき、方程式の係数と他の解を求める活動として、①2つの解を代入して求める、②2次式で割った後、 $(余り) = 0$ から求める、③3次方程式の解と係数の関係から求める、の3通りの解法を扱った。これをもとに本時では、虚数解が与えられたとき、実数解が与えられたときと同じように複数の解法で考える活動を行った。

まず前時に扱った3通りの解法についてスライドを用いて復習をした。解を代入して求める解法を全体で確認した後に、他の解法について個人で考える時間を設けた。その際、前時はどのように求めたのかをスライドで投影してヒントを与えた。最後に他の解法を全体で確認した。

問いに対して、1通りの解き方だけでなく、複数の解き方を考えることで、多面的な見方を養うことを授業のねらいとした。



◇ 研究授業の成果と今後の課題

【成果】

- ・複数の解法を扱うことで、それらについての考え方・解き方を深めることができた。
- ・前時の学びを踏まえることで、その学びとの一致点・相違点について考え、理解する機会となった。
- ・スライドを活用することで、前時の復習や解法の手立てを全体にスムーズに示すことができた。

【課題】

- ・3通りの解法について取り上げることはできたが、より深い学びにするために、まず基本的な解法から習得することや、個人での追究時間を十分に確保する必要があると思われる。
- ・今回はICT機器を導入時の復習で活用したが、スライドだけではなく、書画カメラや個人用タブレットなどの活用についても検討する必要がある。